

侵入車両AI検知システム

アイ モニター

Highway Ai-MONITOR



「作業ヤード上流の監視エリアに侵入する
車両を検知し、作業員に知らせます。」

規制内作業員の 安全を確保

AIによる画像処理技術を利用して一般通行車両の規制内侵入を検知、警告アラートを発報し作業員の迅速な退避行動を促します。

システムの 活用事例

- 車線規制、路肩規制などの本線規制時の上流監視に活用できます。
- 一定時間留まる路肩停車時や後尾警戒時での上流監視にも活用できます。

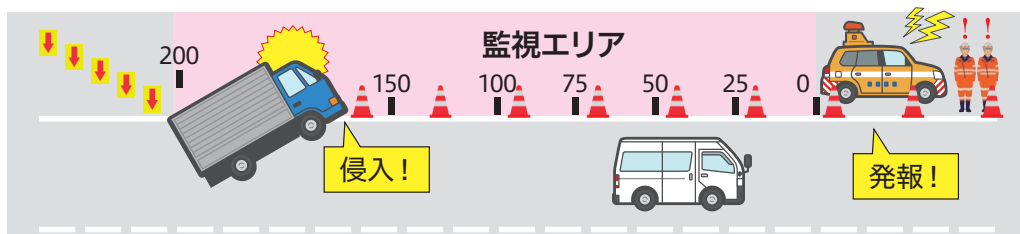
明日へ繋ぐ、未来に繋ぐ

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

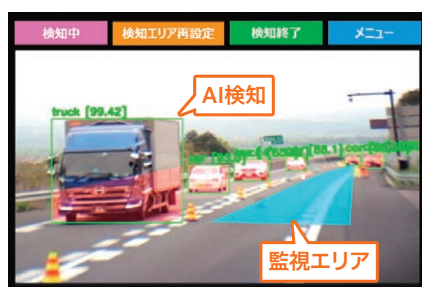
概要

作業員の迅速な退避行動を促すシステム

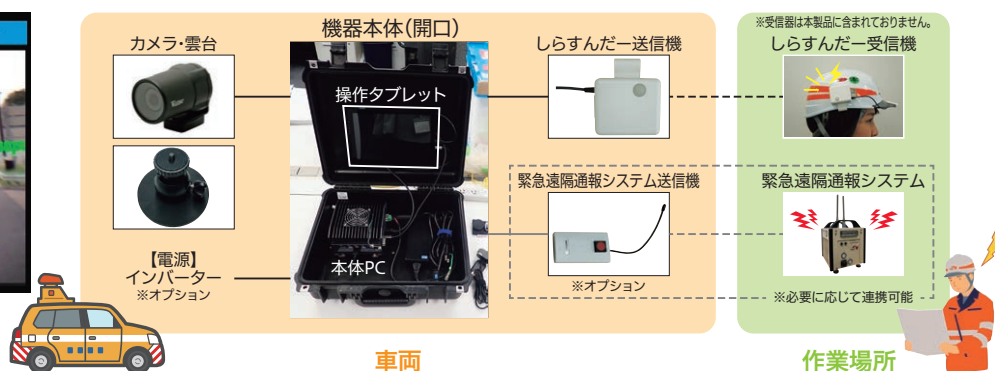
一般車両の規制内への誤侵入事故や路肩停車中の管理車両との衝突事故が問題となっています。このシステムは、AIによる画像処理技術を活用し、任意に設定したエリアに一般通行車両が侵入した際、警告アラートを発報することによって、下流側の作業員の迅速な退避行動を促し、規制内作業の安全性を高めます。既存の安全対策製品と組み合わせて活用することで、さらなる安全性向上が期待できます。



検知画面イメージ



機器構成



特長

- DC12/24V、AC100電源に対応し、どこでも持ち運び使用可能です。
※インバーターはオプション品(予定)です。使用する車両に応じてご使用ください。
(普通車:12V正弦波インバーター/トラック:24V正弦波インバーター)
- システム操作はタッチパネルで、誰もが簡単に利用できます。
- 監視エリアは、場所や用途に合わせて任意の多角形で、手動設定または自動設定が可能です。
- 最大200m^(※1)上流側から侵入車両をAIが検知し、作業員に知らせます。
- 音声出力機器は、しらすんだー^(※2)、緊急遠隔通報システム、トランシーバー^(※3)が使用できます。
- アラートを発報した際の画像が自動保存されます。(スナップショット機能)

※1 道路線形や天候など使用環境により前後します。また、夜間・トンネル・荒天時は動作しない場合があります。
※2 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株製品
※3 システム条件を満足する必要があります。

収納ケース



監視エリアの手動設定



監視エリアの自動設定



※写真は試作段階のものです。

(問合せ先)

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦9F 〒460-0003
TEL:052-212-4551(代表)052-212-4597(営業部直通)

中日本エンジ名古屋 検索 FAX:052-203-5106

<https://www.c-nexco-hen.jp/> mail:info.yy@c-nexco-hen.jp

